



平成30年3月13日
海上保安庁

東シナ海で沈没したタンカーSANCHI号からの
流出油に関する調査について
～SANCHI号から流出した油の油分測定の結果～

海上保安庁では、平成30年2月20日から2月23日、測量船「明洋」において、SANCHI号周辺海域及び沖縄周辺から南九州沿岸にかけての海域の14箇所（前回（平成30年1月29日から2月2日）と同箇所）で採水を行い、油分の測定を行いました。

その結果、すべての採水箇所において、海水中の油分は事故以前に測定された値と比較して変わらない値となり、今回測定した箇所における油による汚染は確認されませんでした。各採水箇所における油分の測定結果は「付図」のとおりです。

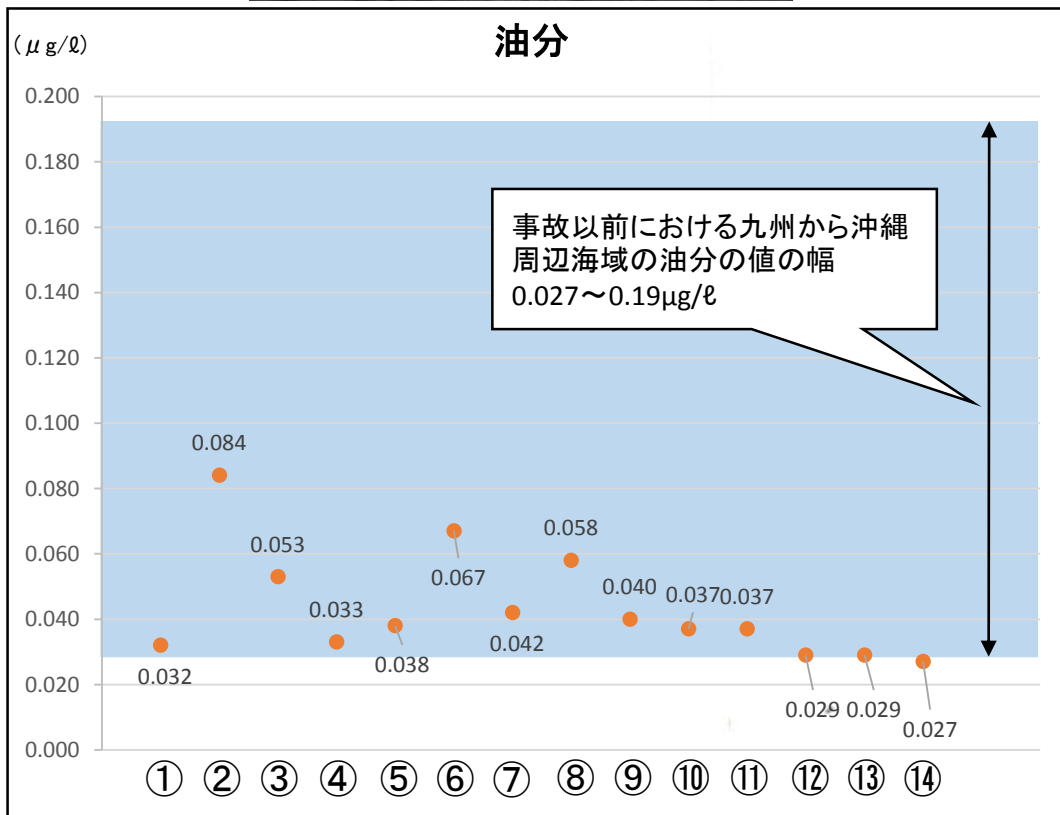
引き続き、関係機関と連携の上、必要に応じ、調査等を適切に実施して参ります。

実施期間：平成30年2月20日～2月23日

採水地点：14点



測量船 明洋



※ 1 $\mu\text{g}/\text{L}$ = 100万分の1 g/L

